

ウクライナ侵攻一年

戦争の理不尽 許さぬ知恵を

「ウクライナ」。サイモンが鳴り響く。授業が打ち切られ、生徒たちはカバンを背負って、校舎地下のシェルターに一斉に踏みを駆け下りていく。ウクライナの首都キーウで、1年前からではないかた「日常」である。

11年生（高校2年）のピクトリアも含め、UJの戦争が始まるまで、将来は成功して樂しくなつて、きれいな服を買いたいと夢見てきた。「今夢めるのは平和、自由、勝利のことだ！」

戦争の非道は、夢を奪ひより重くのしかかる。命を奪われた子供、家族や住み家を失った子供。今ほくほく千人の子供たちがロシアの手で「再教育」のため連れ去られた——。そんなおぞましい現実もある。

UJの理不尽は終止符を打たねばならぬ。戦争を終わらせられるのは、戦争を始めたロシアだけだ。僕らから一年あたり

ブーチン大統領を改めて強く求める。侵略をやめ、ウクライナからの軍を撤退させよ、UJ。

深く刻まれた憎しみ

数日も首都を攻撃するもじりに外れた。ウクライナをロシアにじじなりにする粗いも、完全に裏面に出た。

ウクライナ人の心には、幾往

代も繰りひあらうロシアの憎悪が深く刻まれた。伝統ある劇場は、フーシキンやチョーント

などロシア作家の作品を演じながら外した。支配人は語る。「幼子を含む大勢が殺された。数十

年の歴史をさかのぼる。冷

戦争はいつだん始めるも、終焉がせめ」との方が難い。終焉が深く方策をつくすだけでは

戦争を導く方策をつくすだけではなく、そもそも戦争を始めさせてはならない。UJの教訓を今も

かみ締め、そのための知恵を絞りが必要がある。

西側への不信直視を

まず、戦争が1年前に突如始

められたわけではなくことを、確

め、失った。つまり、ロシアは未来を失ったのだ。
戦争の被害者はウクライナだけではない。食料やエネルギーの高騰など、影響は全世界に広がる。UJでも犠牲となるのは貧困層などの社会的弱者だ。

それでもブーチンは「日本の年次教養講義」「祖国防衛」の戦いを続けると強弁した。

戦勝利に浮かれた西側の傲慢が成功する前例を残してはならない。ロシア国内は反旗を翻成したのではないか。人権弾圧を見過したり、戦略的な対立軸では、かえつて世界の分断を深める感がある。

「法の支配」では結集すべしの歴史をさかのぼる。冷戦勝利に浮かれた西側の傲慢が成功する前例を残してはならない。ロシアは「法の支配」で国連加盟国がたう基本ルールであり、大多数の国が同調できるはずだ。

規範を掲げた。国連憲章がう

に軍事介入したウクライナ東部に政府支配が及ばない領域を作り出した。歐米は東部での戦闘を仲介する一方、明白な主権侵害の手を差し伸べ、共に解決を図

るに努め、長期的な世界の安定のためには欠かせない。

UJは「武力による一方的な国連投票は認めない」という法規範を掲げた。国連憲章がうに軍事介入の必要がある。これまで忘れていたが、これがまたたび、バイデン米政権が説いてはならない。食料やエネルギーの高騰など、影響は全世界に広がる。UJでも犠牲となるのは貧困層などの社会的弱者だ。

ただし、バイデン米政権が説く「民主主義対專制主義」とい

うた対立軸では、かえつて世界

の分断を深める感がある。

UJは「武力による一方的な

国連投票は認めない」という法規範を掲げた。国連憲章がうに軍事介入の必要がある。これまで忘れていたが、これがまたたび、バイデン米政権が説いてはならない。食料やエネルギーの高騰など、影響は全世界に広がる。UJでも犠牲となるのは貧困層などの社会的弱者だ。

ただし、バイデン米政権が説く「民主主義対專制主義」とい

うた対立軸では、かえつて世界

の分断を